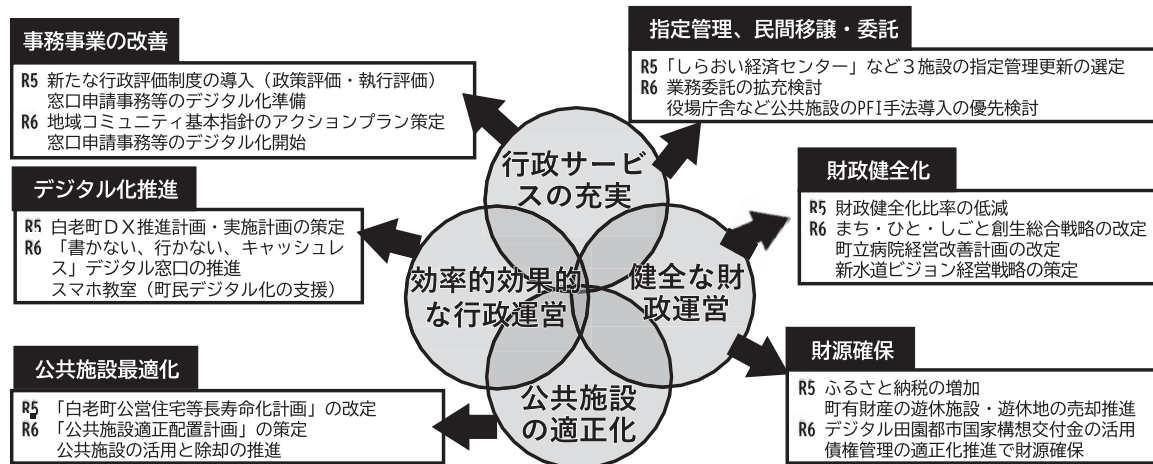


白老町行財政改革推進計画の取り組み状況

白老町行財政改革推進計画は、令和6年度で4年目（中間年度）です。その間、新型コロナウイルス感染症などによって人々の行動や生活様式に大きな変化をもたらしました。その結果、人口減少と少子高齢化が加速し、人材や労働力の不足が問題化し、限られた職員数でもさらなる業務効率化と新たな行政サービスの拡充が求められています。

行財政改革は、単に業務や経費を削減するだけでなく、手法や体制、新技術の導入などによって効率化を図り、利便性の高い行政サービスの提供に努めています。

令和5年度の取り組み状況と令和6年度の取り組み予定（主要なもの）



白老町行政評価制度の実施状況

白老町行政評価制度は、成果を重視した行政運営の実現を目指すとともに、町政の透明性を確保し、さらなる町民サービスの向上を目的としています。

行政評価制度の評価対象は二つあり、①各年度の事務事業予算から決算を評価する「執行評価」と②隔年で実施する町民意識調査による総合計画を評価する「政策評価」があります。

① 執行評価について

執行評価は、当初予算の計上から補正予算等による増減を経て決算までの過程における執行状況や成果などを事務事業ごとに示すものです。

[令和5年度]

- 一般会計および特別会計で当初予算計上した事務事業は、424件で166億1,542万円であり、補正予算322件を経て最終現計予算は497件204億460万円となった。
- 今年度から決算審査における主要施策等成果説明書として執行評価表を提出する。

[令和6年度]

- 一般会計および特別会計で当初予算計上した事務事業は、478件で167億4,663万円である。

② 政策評価について

令和5年度の政策評価は、まちづくり町民意識調査の結果に基づき、行政改革推進委員会で審議した結果を行政改革推進本部会議で承認したものです。

[行政改革推進委員会]

- 令和5年度において総合計画の目標値を達成している施策項目はない。
- 目標値から20ポイント以上低くなっている施策は、消防・救急、地域医療、高齢者福祉、産業連携・雇用、港湾、地域活動、交流・連携である。
- 町民に開かれた役場運営を進めるためには「町民の声を聴ける職員の育成」や「町民相談窓口一本化」の実現に期待する。

※詳細は町ホームページで確認してください。

問い合わせ先：総務課 行政監理室 ☎82-4277